

クラブニュース



今号の記事

インカレ案内(p1,2) 早慶戦結果(p3) ぎふ清流国体結果／ホームカミングデー懇親会(p4) リレー寄稿『あの先輩は今』(p5) バーベル会報告(p6) 会費納入のお願い(p7)

全日本大学対抗選手権大会のお知らせ

12月7日(金)～9日(日)、男女のインカレが開催されますのでお知らせいたします。
 今年度は「さいたま市」での開催となりますのでご注意ください。(案内詳細は次頁ご参照ください)
 首都圏在住の先輩の皆様には、ぜひ、ご来場ご観戦くださいますようお願い申し上げます。

主将コメント スポーツ科学部4年 三浦宏也



今年もインカレが近づいてまいりました。私自身、この1年は時が経つのが本当に早く感じられました。今年のチームは、「男女インカレ優勝」、「自律・礼儀・感謝」をモットーに取り組んできました。チーム全員で1トンの新記録を出そうと目標に掲げて練習に励み、既に10月の時点で1トンを大きく上回ることができました。

今年は男女共に岡田監督から練習メニューをいただき、チーム一丸となって厳しい練習にも耐えてきました。インカレのために取り組んできたこの1年の総決算、全力で男女インカレ優勝を目指します。

また、私自身も入学時から掲げてきた「インカレ個人優勝」を達成し、早稲田を引っ張ります。先輩の皆様の応援は本当に大きな力となりますので、ぜひ、ご観戦ください。

インカレの成績はtwitter上で、リアルタイムで配信予定です。

右の方法で簡単に閲覧できますので、会場にお越しただけでない方も、ぜひ、ご覧下さい。

twitterアカウントをお持ちの方は、応援メッセージを送ることも可能です。たくさんのメッセージをお待ちしています。



部Webサイトの右側、
 'WUWL on Twitter'
 をクリック
 上図ページが表示され、枠の部分
 に試合速報が掲載されます。

会場：さいたま市記念総合体育館

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場4-3-1

**例年と会場が異なります。
ご注意ください！**

【アクセス】

JR京浜東北線

京浜東北線・大宮駅行きで「浦和」駅下車
浦和駅西口 国際興業バス⑤乗り場より「大久保浄水場」行き又は「桜区役所」行きに乗車
「桜区役所」下車 徒歩0分(浦和駅より約30分)
(「大久保上水場行き」の場合、桜区役所に停車しない場合あり。その場合、「十和田」で下車)

JR埼京線

埼京線・大宮駅行きで「中浦和」駅下車
中浦和駅西口 国際興業バス乗り場より「桜区役所」行きに乗車
「桜区役所」下車 徒歩0分



競技日程 (12月7日～9日)

	競技開始	階級	出場選手(学部)		
7日(金)	15:00	男子56kg級	雨宮成(スポ3)		
	16:45	女子48・53kg級	松山洋香(人4)		
8日(土)	10:00	男子62kg級	神谷勇斗(スポ2)	松本浩志(スポ1)	
	11:55	女子58kg級	見附絵莉(スポ2)		
	13:30	男子69kg級	生頼佑馬(スポ1)		
	15:20	女子63kg・69kg級	松本潮霞(社3)	高岸冨佳(社2)	吉野千枝里(社4)
	17:30	男子77kg級	伊藤大永(スポ3)	梶田大和(スポ1)	
9日(日)	10:00	男子85kg級	安達貴弘(スポ4)	三浦宏也(スポ4)	
	11:15	男子94kg級	出場なし		
	12:30	男子105kg級	出場なし		
	13:50	女子75kg・+75kg級	出場なし		
	15:30	男子+105kg級	出場なし		

第56回 早慶定期戦結果

10月14日(日)、日吉記念館において、第56回早慶ウェイトリフティング定期戦が開催されました。対抗戦は、早稲田が通算54勝目となる勝利を収め、連勝記録を49に伸ばしました。

今大会、早稲田では初めて、女子2名が正選手としてエントリー。56kg級に松山洋香(人科4)、

62kg級に吉野千枝里(社学4)が出場し、慣れない男子用のシャフトを用いての競技でしたが、好記録で早稲田の勝利に貢献するとともに、伝統の定期戦を大いに盛り上げました。

当日会場に応援に来てくださった先輩の皆様、ありがとうございました。

OB/OG来場者

敬称略

酒井延幸(S33)	林毅(S34)	大石幸輝(S37)	鈴木靖二(S43)	高林昇(S43)
鵜飼信一(S46)	水谷吉朗(S48)	岡田文男(S49)	野口清志(S49)	志田典明(S51)
加納修(S59)	野中弘一(H01)	岡田純一(H02)	保井俊一郎(H09)	吉岡史生(H13)
平山邦明(H18)	城内史子(H19)	松本萌波(H20)	九十歩和己(H23)	武井誠一郎(H24)
和田大河(H24)				

早慶戦に出場して

62kg級 吉野千枝里

今回、62kg級で早慶戦に出場させていただきました4年吉野です。

出場させていただけることが決まり、“男子用シャフトで練習して試合に出場”などということは、今後の競技生活の中ではこの先一生無いだろうし、面白そうだ！と私自身とても楽しみにしていました。

実際練習してみると、シャフトの重さに慣れてしまえば、グリップもむしろスナッチのキャッチは女子用より安定していたり、ジャークは“しなり”が女子用と全く違って、ディップの調整が難しかったりなど色々新たな発見があったり、また部のなかでも普段なら一緒に組むことのない男子部員と練習できたり、とても新鮮でした。

試合の結果としては、スナッチ、C&ジャークともに三本目が決められなかったのが心残りです。男子に混じっての試合は、団体戦として一緒に楽しむ事もできましたし、また二本目以降の上げ幅も女子とは違うので、二本目からの間があいてしまったり、これがインターハイやインカレだと更になのかと思うと、男子はなかなかハードだなとも感じました。

また、今回とても良い経験ができたので、今後とも積極的に女子の早慶戦出場を薦めたいと思うと

同時に、いつか慶應の女子の選手と戦う場面を見たいと思いました。

伝統ある早慶戦に、学生最後の年に一選手として関わられたことをとても嬉しく思っています。

ご尽力いただいた慶應の皆様、お越しいただいた両校先輩の皆様、応援ありがとうございました。

懇親会模様

スポーツ科学部4年 副務 土屋千晶

重量挙三田会顧問 望月先輩のご挨拶と乾杯でスタートした早慶戦後の懇親会。今回は早慶両校合わせて29名のOB/OGの皆様にご参加いただきました。

両校垣根なく、先輩の皆様にはリフティングだけでなく生き方について多くの助言を私たち現役部員にしてくださいました。

また、酒井名誉会長から第1回早慶定期戦開催のエピソードをおうかがいし、現役部員一同、早慶戦が“伝統の試合”であることを改めて認識するとともに、これからも後輩たちへ引き継いでいく責任があると感じました。本当にありがとうございました。

第67回国民体育大会結果

10月6日～8日、岐阜県土岐市にて「ぎふ清流国体」のウェイトリフティング競技が開催されました。

早稲田からは、安達貴弘選手(スポ4)、菊池幹広選手(社3)の2名、また、OBの黒江雄治選手(H22卒)、大塚一樹選手(H24卒)、武井誠一郎選手(H24卒)が出場しました。

武井誠一郎選手は、今年5月に行われた全日本選手権に続き、2位入賞を果たしました。

武井誠一郎選手のコメント

山梨県代表として国体に出場させていただきました。結果はスナッチ140kg／C&ジャーク158kg／トータル298kgでした。

スナッチは3本成功し、自己ベストを3kg更新でき、大きな自信となりました。C&ジャークは不甲斐ない結果となりましたが、改めて練習日誌を見返すと、試合までに積み上げてきた練習がそのまま結果に現れたのだと感じています。

また次の試合に向け、真摯に練習に取り組んでいこうと思います。

階級	氏名	スナッチ	ジャーク	トータル
62kg級	黒江雄治(H22卒)	108kg (5位)	138kg (5位)	246kg (5位)
69kg級	大塚一樹(H24卒)	125kg (3位)	150kg (5位)	275kg (5位)
77kg級	武井誠一郎(H24卒)	140kg (2位)	158kg (3位)	298kg (2位)
85kg級	安達貴弘(スポ4)	128kg (9位)	161kg (6位)	289kg (7位)
94kg級	菊池幹広(社3)	120kg (13位)	150kg (15位)	270kg (15位)

ホームカミングデーに伴う 対象年次先輩との懇親会を開催

10月20日、新宿・くらわんかにてホームカミングデー対象年次先輩との懇親会を開催しました。

2年ぶりの開催となった今回の懇親会には、今年リレー寄稿にご登場いただいた、葉坂仁司先輩・星野尚先輩にもご参加いただき、現役時代をともに過ごされた前後年次の先輩方と、東京オリンピックの代表選手を目指して競技に打ち込んでいらした当時のお話や、互いの近況報告などで盛り上がりました。

また、ほんの一部ではありますが、現在の部の様子なども紹介させていただきました。このような機会を通じて、部をより身近に感じていただき、次の交流機会につなげていけたら幸いです。

【出席者(敬称略)】

下谷内堯(S37) 加藤清忠(S38) 葉坂仁司(S40) 星野尚(S40) 稲垣順一(S40)
田口薫(S42) 鈴木靖二(S43) 志田典明(S51) 野中弘一(H01) 蔵山潤哉(H21)



リレー寄稿『あの先輩は今』

リレー寄稿『あの人は今』のコーナーです。様々な舞台で活躍されている先輩の皆様にご近況や現役時代の思い出などを寄稿していただきます。今回は、昭和40年卒・星野尚先輩です。

前号で葉坂仁司君が東京オリンピックの最終予選について書いていましたので、その話から引き継いでみたいと思います。

日本で初めて開催されるオリンピックでしたので、その数年前から日本のスポーツ界が盛り上がり、強化活動が活発に行われ、代表チームに選ばれることが選手の目標となっていました。我が部で代表候補として期待されていたのは、加藤清忠さん、広末晴彦さん、葉坂仁司君、山内英雄君の4人でした。中でも、前年に朝日新聞のスポーツ欄で、「オリンピック期待の新星」として葉坂君が大きな記事で紹介されたために、早稲田の関係者はもちろん、親戚や宮城県の関係者などの期待も大きく膨らみました。最終予選の結果は、本人も前号で述べているとおり、我が部からは代表選手を一人も出すことができませんでした。

各国の軍事力がその国のGDPにほぼ比例しているように、スポーツも経済力の競争と言っても良いと思う。当時の東側諸国が、国家の威信をかけてスポーツ代理戦争をしていた時代に、自衛隊や大企業の選手は別として、我が部の選手達はアルバイトをしながらやっとなんか食えとか、フルタイム働いた後に一人で孤独な練習をするような環境では、持てる才能をフルに発揮できない。

当時早稲田に練習に来ていた外国の代表選手の中でも、東側諸国の選手達は例外なく麻縄をよったようなバサバサした筋肉で、また傍に寄ると強烈な共通の体臭を発散していた。日常の経済的な保障はもとより、

トレーニングから体調管理まで全てを国家がコントロールし、ステロイド類をはじめあらゆるドーピング薬まで、当時は国家主導でやっていたのだそうです。私がロンドンに駐在していた頃に、ポーランド・ブルガリアの体育関係の役人から聞いた事で、検査技術の未熟な頃の話ですが。

私の近況ですが・・・、在部当時は、窪田登コーチや加藤清忠さん等に冷やかされながら、「さしたる努力をしないで重量挙げが強くなる方法」の独自研究をしていました。あれから50年近く考えていますが、未だに研究の成果は出ていません。「地中で木の根から樹液を吸って幸せに生きるセミの幼虫とビジネスモデルへの応用」というテーマを今年から加えました。こんな事を考えながら毎日過ごしています。体は元気で、毎日やらねばならぬ事がないという完全隠居生活です。

重い物を持ち上げて力を比べあうという男性の本能から生まれたはずの競技に、最近では女性が参加するようになり、我が母校早稲田大学でも女子の方が優勢らしいなどという話と聞くと、長い年月が経ったことを実感させられます。

ロンドンオリンピックでは、三宅宏実さんが銀メダルに輝き、日本中を喜ばせました。競技のイメージが明るくなったような気がします。

最後に、現役の皆さん。次のオリンピックの選考会まで3年半あります。ブラジル・リオデジャネイロをターゲットに据えて、今から挑戦してください。楽しみに期待して待っています。

星野尚(S40卒)



早稲田重量挙げ仲間

2011. 1. 29

第23回バーベル会報告

9月27日(木)、第23回バーベル会＝早慶ゴルフ対抗戦が、埼玉ロイヤルゴルフ倶楽部越生コースで開催されました。

台風18号が小笠原付近を北上中で天候が心配されましたが、台風のスPEEDが遅かったことから風もなく、午後は曇り空となったものの、まずまずのゴルフ日和に恵まれました。慶應(三田会)から9名、早稲田(稲門ウェイトリフティングクラブ)から10名、計19名の参加者が集まり、バックティーからのティーショット、OKパットなしという厳しい競技方法により、両校上位5名のグロス合計による団体戦、および新ペリア方式による個人戦とで争われました。

ラウンド後には懇親会が開かれ、各賞の表彰が行われました。個人戦は慶應・渡辺和義氏(S44卒)

がネット72.6で優勝し、早稲田・高橋明先輩(S46卒)が準優勝に輝きました。団体戦は、早稲田‘479ストローク’、慶應‘498ストローク’、19ストローク差で早稲田が昨年に引き続き連勝し、通算成績‘12勝11敗’と勝ち越しました。

盛会は、来年9月に茨城のやさと国際ゴルフ倶楽部で次回バーベル会を開催することを決定し、再会を期してお開きとなりました。

なお、腕に自信のある方、はじめたばかりの方、ブランクを経て再開された方、新規メンバ募集中です。春には「探球会」、秋には「バーベル会」を開催しています。ぜひ、ご参加のほどお願い申し上げます。

岡田文男(S49卒)

順位	氏名	K/W	卒業年次	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	渡辺和義	K	S44年	50	49	99	26.4	72.6
準優勝	高橋 明	W	S46年	51	51	102	27.6	74.4
3位	望月良三	K	S37年	52	47	99	24.0	75.0
4位	山中 元	K	S34年	48	49	97	21.6	75.4
5位	足立恒雄	W	前部長	51	51	102	26.4	75.6
6位	内村正月	W	S44年	52	49	101	25.2	75.8
7位	藤田和雄	W	S44年	46	52	98	21.6	76.4
8位	岡田文男	W	S49年	46	45	91	14.4	76.6
9位	田口 薫	W	S42年	54	47	101	24.0	77.0
10位	山内俊夫	W	S44年	43	45	88	10.8	77.2
11位	河野静夫	K	S44年	48	50	98	21.4	76.6
12位	林 毅	W	S34年	53	58	111	31.2	79.8
13位	中井二男	K	S44年	59	56	115	34.8	80.2
14位	鈴木幸男	K	S37年	60	52	112	31.2	80.8
15位	高岸一博	K	S47年	51	54	105	24.0	81.0
16位	鈴木宏侑	K	S38年	54	54	108	26.4	81.6
17位	加納博樹	K	S57年	59	53	112	30.0	82.0
18位	古川雍夫	W	S35年	54	57	111	27.6	83.4
19位	山田 繁	W	S35年	59	55	114	27.6	86.4

[訃報]

8月、昭和47年卒・前川広道先輩が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

会費納入のお願い

部の運営並びに選手強化・育成のため、また近年は新入部員の勧誘活動のため、稲門ウエイトリフティングクラブからの経済的支援は不可欠なものとなっております。今年度も会費納入につきまして、先輩皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

振込により納入される皆様へ

納 期: 今年度分は12月末までにお振り込み願います。

振込額: 卒業4年目以降:12,000円

卒業3年目まで:10,000円

振込先: 金融機関名 = みずほ銀行(金融機関コード:0001)

支店名 = 新宿新都心支店(支店コード:209)

科目 = 普通

口座番号 = 8220922

受取人名 = トウモンウエイトリフティングクラブ

自動引き落としをご利用の皆様へ

今年度分は、7月27日、ご指定の口座より振替えさせていただきました。誠にありがとうございました。自動引き落としのお申込み手続き、会費納入に関するお問い合わせは、下記へお願いします。

【連絡先】

会計幹事 蔵山潤哉 E-mail: *****@*****.*** 携帯電話: ***-****-****

近年、特に若手の先輩の皆様からの会費納入率が伸び悩んでおります。負担額は1ヶ月当たり僅か833円～1,000円です。ご協力よろしく申し上げます。

登録 メール会員未登録の方へ

稲門ウエイトリフティングクラブでは、経費節減とグリーン化を目的に、電子メールを活用した広報活動に取り組んでいます。皆様のご協力により、現在85名の方に配信しております。

メール会員数の拡大に向けて、未登録の皆様、ぜひ登録のご協力をお願いします。

登録方法 :

下記のメールアドレス(幹事長 野中弘一)へメールを送信してください。

E-mail: twc@coffee.ocn.ne.jp

* メールには"年次"と"お名前"を明記下さい。